

令和3年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	5-	3	
会計	款	項	目
一般	2	1	6
課名	町民課		
係名	町民活動係		

事業名	住民活動支援事業		
政策	3 みんなが活躍できる地域共生社会をつくるために		
施策	3-1 主体的で特色のある地域づくりの推進		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	NPO、市民活動団体	目的 (対象がどのような状態になっているか)	どういん市民活動支援センターを主体として、市民活動団体の活動支援を行うことで、住民にとって市民活動をより身近なものと感じられるようにし、以ってまちづくりに参加しやすい土壌をつくる。
事業内容	住民活動支援事務…平成28年6月に「どういん市民活動支援センター」を町総合文化センターの2階のオープンスペースに開設し行政が直接運営するようになった。市民活動に関する情報、活動状況、課題などを共有し市民活動団体を支援することによって、市民活動団体自らが町運営の一翼を担えるような団体として成長するよう事業を展開していく。 世話焼き人事業…平成28、29年度に実施した世話焼き人講座受講者のうち任意で残った方たちと継続的な打ち合わせを行いながら市民活動に繋がるよう支援を行う。 シルバー人材バンク（個人ボランティア登録）の立ち上げを市民活動支援センターで行う。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
1	町や自治会などと連携している市民活動団体数	15			団体	↑		19
2	地域の行事や近所づきあいへの参加意識	-			%	↑		↗
3	地域活動やボランティア活動に参加している町民の割合	-			%	↑		↗
4								
5								
		令和2年度（決算）		令和3年度（決算）		令和4年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B		8,954		10,497		10,583		
財源内訳	直接事業費A	866		609		695		
	うち一般財源	830		556		627		
人件費（千円）B		8,088		9,888		9,888		
内訳	一般職員（人・千円）	0.68	4488	0.68	4488	0.68	4488	
	臨時職員（人・千円）	2	3600	3	5400	3	5400	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
				コストの削減	B削減の余地がややある	
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	東員町第6次総合計画のKPIにより行政や自治会等と協働できる市民活動団体の数を増やしていく。	③取組の課題	市民活動団体の住み分けが難しく、本来、目指すべき地域貢献や行政等と協働できる市民活動団体の育成ができていない
②R3年度に実施した取り組み	どういん市民活動支援センター登録団体代表者会議の実施	④今後の改善計画	東員町第6次総合計画のKPIにより行政や自治会等と協働できる市民活動団体の数を増やしていく。